学校番号	416

令和３年度　書道科

教科	書道	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編「書道Ⅰ」　（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書写と書道の違いを理解し、技法の習得や用具・用材の学習に取り組むこと。
・古典の臨書においては、用筆法・運筆法・字形のとり方などに注意し、その作品の作者や時代などを理解しましょう。
・ただ枚数を書きこなすのではなく、ポイントを押さえながら１枚１枚丁寧に書きましょう。また、お互いの作品について、鑑賞し、批評しあいましょう。
・漢字仮名交じり文の制作では、自分の意図に応じた表現をするために、古典の学習をもとに、自分の感性をどの様に表現していくかを工夫しましょう。

２　学習の到達目標

・小・中学校国語科書写の学習を基礎としながら、書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、漢字・仮名・漢字仮名交じりなど、さまざまな書の基礎的な能力を生かし、書の効果的な表現技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用、文字および書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを味わっている。
評価方法	観察 レポート	観察 提出作品 レポート	観察 提出作品 レポート	観察 提出作品 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	さあ、はじめよう。さあ、書こう。	・用具・用材の種類・製法を学び、表現の違いを理解する。 ・姿勢や執筆法の基本を理解する。 ・基本的な用筆・運筆・結構法を習得する。	○		○	○	a:基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解している。 b:書写での基礎や基本を生かし表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身につけて表現している。 d:書写と書道の相違点を理解している。	観察 提出作品 レポート
	漢字の書の学習①	・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書の用筆・運筆・結構法を理解している。 ・篆書の美とその表現技法を理解している。	○		○	○	a:楷書・篆書の表現技法について関心を持ち、鑑賞活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書体・篆書体の基本的な用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:用筆法を身につけ、古典の美を理解し、臨書している。 d:漢字の書体・変遷について理解している。	観察 提出作品 レポート
	篆刻の学習	・姓名印をつくる。	○	○	○		a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻の手順・方法を理解し、印面構成の工夫等を行い、篆刻のもつ伝統的な美を感受し、印稿を構想し工夫している。 c:篆刻におけるそれぞれの段階で、基礎・基本的な技法を身につけて表している。 d:さまざまな印影を鑑賞し、篆刻の美しさと表現効果を味わい、篆刻の伝統と文化について幅広く理解している。	観察 提出作品 レポート
二学期	漢字の学習②	・隷書の美とその表現技法を理解する。 ・行書の美とその表現技法を理解する。 ・草書の美とその表現技法を理解する。	○	○	○		a:隷書・行書・草書の美とその表現技法について関心を持ち、鑑賞活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:用筆法を身に付け、古典の美を理解し、臨書している。 d:各書体の成立と歴史的意義について理解し、古典の美しさを感じ取っている。	観察 提出作品 レポート
	刻字の学習	・彩玉ボードを使用し、1～2文字の作品制作をする。	○	○	○		a:書体の変遷を理解した上で、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:刻字の手順・方法を理解し、自らの意図に基づき、撰文・構成の工夫等を行い、刻字のもつ	観察 提出作品 レポート

							伝統的な美を感受している。 c:創造的な刻字の表現をするために、用具の扱い籠字・刻り・着色等の基本的な刻字の技法を身に付け表している。 d:作品の鑑賞をとおして、刻字のよさや美しさを感じ取っている。	
三学期	仮名の書の学習	・わが国独自の文字である仮名について、成立過程と字源等について学び理解する。 ・平仮名の基本的な用筆法を習得する。 ・古典の鑑賞と臨書により、運筆・用筆および散らし書きの基礎を学ぶ。	○		○	○	a:仮名の成立に関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。 b:仮名の線の特質を理解するとともに、用具用材によって線質や表現が変わることを理解し、工夫している。 C:仮名の筆使いを身に付け表現している。 d:日本の文化と書の伝統文化について関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。	観察 提出作品 レポート
	漢字仮名交じりの書	・これまでに学習した漢字および仮名の古典および仮名の古典の学習をもとに、その表現を応用した、漢字仮名交じりの書の制作 ・漢字仮名交じりの書の作品を鑑賞し、自己の意図に応じた表現を工夫する。		○	○	○	a:漢字仮名交じりの書の表現に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:古典や名筆の美しさを感じとり、自己の表現の狙いを達成するために、自らの表現意欲を高め表現を工夫している。 C:漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け表現する。 d:古典のや名筆のよさや美しさを生かし表現する。	観察 提出作品 レポート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫

c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。